



# 診療放射線技師



診断や治療のために、最新機器を安全にフル活用

## OG VOICE

さまざまな職種の方々との協働が多い職場です



真中 佑美さん

聖マリアンナ医科大学病院 勤務  
保健医療学部  
放射線・情報科学科 卒業

当院の画像センターには8つの部署があり、入職後は1年間の研修期間を経て、8年ほどかけてすべての部署をローテーションします。私は現在、血管造影を中心に各種治療手技を実施する血管撮影室にいます。医師をはじめさまざまな職種の方々との協働が多い職場です。診療放射線技師の仕事は、医師が正確に診断するための最適な画像を提供することです。経験と知識をたくさん身につけて、より専門性を高めていきたいです。

## どうすればなれる？

- 診療放射線技師国家試験に合格しなければなりません。

### 受験資格を得るには…

文部科学大臣指定の大学（4年）、短大（3年）、厚生労働大臣指定の専門学校（3～4年）で必要な知識・技能を学び卒業する。

高校卒業

診療放射線技師指定養成所  
大学・短大・専門学校  
（4年・3年）

診療放射線技師  
国家試験合格

診療放射線技師

## どんな仕事？

### 画像撮影と放射線治療に貢献

放射線を用いたX線装置・CT装置、磁気を用いたMRI装置、超音波を用いた超音波診断装置などを扱って、医師が病気を診断するための最適な画像を提供します。また、病気の早期発見・精密診断のみならず、がん治療のひとつである放射線治療では、最先端技術を駆使した放射線治療装置を扱って、治療に直接貢献する役割も担います。

## どこで働く？

病院の放射線科や専門の医療機関など、安全管理にも従事します

病院

医療行政機関

医療機器関連企業

画像検査センター

など

## 仕事の展開と将来の展望

### 放射線治療専門放射線技師が誕生

近年の画像診断装置や放射線治療装置の技術進歩はめざましく、これらを扱う診療放射線技師には高度な専門知識と技術が要求されています。特に、がんの放射線治療においては、病巣に照準を合わせて正確な線量を照射できるかどうか治療の成否を決めるため、この分野の専門性を高めた「放射線治療専門放射線技師」が誕生しており、治療分野での貢献がますます望まれています。